

介護にかかる費用 見積もりは252万円、現実には80万円

- 1 シニアにとって介護が不安なり理由の一つは、費用を見積もることが難しいからです。不安が過大に評価されて、準備金額も多額になってしまうという循環です
- 2 要介護状態になった場合に必要となる一時費用(予想)は252万円であるのに対し、実際に介護経験のある場合の一時費用は80万円です
- 3 ライフイベントを見積もるとき、情報が少ないと見積金額が大きくなり、ライフプラン全体に影響を及ぼしてしまいます。適切な情報に基づいて見積もりたいですね

介護に対する不安

シニアにとって要介護状態になるというのは最も避けたいと考えていることです。周りの人に迷惑をかけたくないということに加えて、介護施設に入るとお金がたくさん必要になると考えるからです。

そして、介護施設はとてまたたくさんあります。なかには数千万円の入居金が必要になり、毎月数十万円の費用が必要になる有料老人ホームもあります。

介護は見積もりと現実には差異がある

公的介護保険の範囲外の費用に対して必要と考える初期費用

平均 **252万円**

介護に要した費用(公的介護保険サービスの自己負担費用を含む)のうち、一時費用

平均 **80万円**

生命保険文化センター
「生命保険に関する全国実態調査 平成27年度」

予想と現実

報道とうで高額な介護施設が紹介されると、介護経験のない方の不安は増幅されます。その結果、「介護になるとたくさんの費用が必要」という結論にたどりつきます。

生命保険文化センターの公表している資料によれば、要介護状態にあつたときに一時的に必要と思う費用の平均額は252万円になっています。

一方、同じ報告書で、介護経験のある人に、一時費用として必要になった金額の平均値を尋ねると、その平均は80万円と報告されています。

わたしたちは、介護に不安を感じすぎなのかもしれません。



ライフプラン全体に影響

過度に悲観的な見積もりは、高い金額見積もりにつながります。そして、大切なことは、介護だけにお金が必要と想定してしまうと、ライフプラン全体に影響を与えてしまうということです。

そして、介護費用の見積もりの難しいところは、介護の形態によって必要となる費用の幅が大きく、そのため、平均値があまり役に立たないときがあるということです。

ライフプランに関する相談はお気軽に

Barms
Corporation Co., Ltd.

発行元:バームスコーポレーション(有)

神奈川県川崎市宮前区土橋2-2-2-301

tel (044) 854-8480 fax (044) 856-7268

✉ pinfo@barms.jp 🌐 http://www.barms.jp